

職業奉仕委員長会議

地区職業奉仕委員長 桃田 隆彦



8月3日(土)テクスピア大阪におきまして、2640地区職業奉仕委員長会議が開催されました。当日は猛暑の中にもかかわらず、小島ガバナー、成川(PDG)カウンセラー、前窪ガバナー・エレクト、見臺ボランティア委員、ガバナー補佐9名、そして、地区75クラブ中70名の職業奉仕委員長のご出席を頂きました。

まず、小島ガバナーより、ロータリークラブにおける職業奉仕の重要性が話され、近年特にひどくなった不徳義な商取引や企業倫理に対して、ロータリーの職業奉仕の理念を高くかけ、誇りを持って行動して頂きたいとお話しがございました。続きまして地区委員会と致しましては、ロータリーの高度な道徳的水準を高める為にも、10月の職業奉仕月間は職業奉仕を正しく理解する月間とお考え頂き、各クラブ職業奉仕委員長ご自身が「職業を通じて社会に奉仕するのがロータリーの職業奉仕」だという事を今一度お考え頂きたい。

職業奉仕は、ロータリーの金看板として最も重要な奉仕部門でありながらクラブとして又、地区として、他の奉仕部門と違って手のつけにくい、難しい部門といわれています。しかし、今年のRIビチャイ・ラタクル会長は、「私は、トップダウンではなくてボトムアップ型のリーダーシップを求めています。本年度はクラブが何をやるかは各クラブが独自に決定して欲しいのです。クラブにとってなにが適切で、良いことかを一番よく知っているのは、クラブ会員だと信頼するからです。」とおっしゃっておられます。又、2640地区小島ガバナーは、職業奉仕部門はクラブ主導であると、明言されました。私自身も私なりに、前向きに取り組みたいと考えております。よって下記を活動計画案と致します。

【本年度職業奉仕委員会活動計画として】

1. 職業奉仕月間は職業奉仕を理解する月間とお考え頂き、ロータリーの職業奉仕とは何であるかということをご理解頂く。

そして、特に10月には各クラブで職業奉仕のフォーラムを開催の上、その要旨の提出をお願い致しました。必ず、新会員の方々にロータリーの職業奉仕が何であるかということをご理解頂けることを信じます。

その後、成川(PDG)カウンセラーよりフォア・ウェイ・テストのお話があり、現在の日本語訳が出来た経緯についての詳しいご説明がございました。

そして休憩後、ロータリー・ボランティア担当の見臺委員より2640地区のロータリー・ボランティアに対する理解がなかなか行われていない現状の中で、ご自身の行っておられるボランティア活動の経験から、まず、現状より一歩踏み出す為にもロータリー・ボランティアへの登録の要請がございました。

その後15:00より、5~6名のグループ別フォーラムで各クラブの活発な意見交換、そして質疑応答の後、16時20分小島ガバナーのご挨拶があり予定通り閉会致しました。

2. ロータリー情報委員会のご協力を頂き、特に新会員の方々に職業奉仕がロータリークラブにおいて最も大切であるということをご説明頂く。
3. 今一度、ロータリークラブの原点に還り、『THE FOUR-WAY TEST』について、ご自身の職業奉仕についての問題点をフォーラムに提起していただき、職業奉仕の倫理感を高めて頂く。(上記クラブ職業奉仕委員長の任務の遂行を援助するために、当地区で過去に発行された資料を配布し、適切な情報を提供致します。)
4. ロータリー・ボランティア活動を支援します。
5. 現状の地区行事を活用するため、地区青少年・ライラ委員会と協力をし、青少年に対して職業人としての助言を強力に推進致します。